「このまちが、いい。」と選ばれるまちに――。

令和7年度決算のここに注目!!

※万円未満四捨五入

9月定例会では決算審査特別委員会を設置し、令和7年度の予算の使い道が適正かつ効果的であったかどうかを審議しました。

なかでも議会が注目した町の事業成果について、評価や課題とともにピックアップしてお伝えします。

一般会計　歳出決算総額　178億6664万円

審議のようすはこちら↓（録画配信）

一般会計　特別会計

97号で取り上げた予算はどうなった?

安全な学習環境を確保 小・中学校水泳学習業務委託



命を守る着衣水泳学習

全小・中学校の水泳学習を民間に委託し、専門指導員のもとで習熟度に応じた指導を実施した。天候に左右されない安全な学習環境を確保でき、児童生徒の泳力向上や教職員の負担軽減など、教育環境の充実につながった。

決算額は2335万円で、ふるさと応援基金を活用。

問 水泳学習の民間委託による成果と費用対効果は。

答 **学校教育課長**

指導員や安全監視員も充実し、専門的な指導により「初めて25m泳げた（中3）」など、確認できている。

また将来的には、プールの維持に係る1校あたり8000万円以上の改修費負担の抑制などが見込まれる。

インストラクターの指導と見守りがあり、こどもが安全・安心に水泳に取り組めて、親としても心強いです。



西原さん家族

議会の視点

●安全確保と将来負担減

民間委託により、泳力向上や将来のプール改修負担軽減を評価。

今後も費用対効果の検証と、既存プールの有効活用にも期待したい。

97号で取り上げた予算はどうなった?

快適な利用環境へリニューアル 武道館改修事業



盛大に開かれた宇美八幡宮奉納宇美合気道祥雲塾演武会

建設後29年が経過した武道館の空調・トイレ・外壁・屋根・内部・昇降機・外構を改修。

社会体育施設・指定避難所として、安全性や機能性を確保するため実施した。

事業総額は、令和5年度から7年度で4億8788万円となった。（7年度決算額は2億7797万円で、地方債を一部活用）

問 改修後、避難者から施設へのさらなる要望はあったのか。

答 **地域コミュニティ課長**

6月の大雨時に指定避難所として開設し、3世帯4名が避難した。特段の意見や要望はなかった。

町民インタビュー



永山さん家族

空調が整い、畳も新しくなった武道館。快適な環境で、親子一緒に武道に集中できてうれしいです。

議会の視点

●避難所としての機能も向上

武道に親しみ技術向上につながる環境整備と、避難所機能の安全性・利便性向上を評価。

97号で取り上げた予算はどうなった?

ついに工事が完了 ひばりが丘災害復旧工事・動態観測事業

令和3年8月の大雨により被災した、町道竹ケ下～桜ケ丘線道路法面の災害復旧工事が完了した。

復旧作業を進める中、5年7月の大雨により被災箇所が増破したことから、工事の工法変更などを行った。

復旧工事と併せて、地盤を測定器などで定期的に観測する動態観測事業を実施し、安全性の確認も行った。

これにより事業総額は、国の交付金などを活用し令和3年度～7年度で9億996万円となった。（7年度復旧工事決算額は2億1582万円・動態観測事業決算額は2838万円）

問 動態観測事業による調査実績を今後の災害対策にどう活かすのか。

答 **都市整備課長**

3年度から事業を継続する中、過去に警報発信もあったが、現地確認で異常はみられなかった。

今後も地盤などの変状を確認するため、1～2年程度は事業を継続する。

地域の皆さんの安全・安心を願っております。

町民インタビュー



ひばりが丘ニ自治会 会長 真島　良弘 さん



待望の工事がついに完了!

議会の視点

●安全確認が重要

動態観測結果を公表することで地域住民の安全・安心が得られる。

動態観測事業の終了期限は慎重に判断してほしい。

97号で取り上げた予算はどうなった?

「書かない、回らない、待たない窓口」システムを構築 窓口支援システム導入業務

役場窓口での手続きにかかる申請者の負担を減らすための窓口支援システムを導入した。

決算額は913万円で、ふるさと応援基金と国の交付金を活用。

問 窓口支援システム導入による効果は。

答 **総務課長**

申請書を自動作成することで記入負担を軽減している。

今後、福祉・介護・保険など対象手続を順次拡大し、待ち時間の短縮と利便性の向上を図る。



※イラストは生成AIを活用

小さなこども連れには「書かない・回らない・待たない窓口」が助かります。雰囲気も良く、行きやすい役場になりました。

町民インタビュー



入江さん家族

議会の視点

●「書かない窓口」の充実へ

申請書記入の負担軽減を評価。

対象手続の拡充で、住民サービスのさらなる向上に期待したい。